

大人のための情報モラル通信

SNSとオーバードーズの関係について

大人のための情報モラル通信は、子どもたちの安心・安全なインターネット利用に向けて、学校の先生方と保護者のみなさま、地域のみなさまに「大人としてできること」を考えていただく為の資料です。

みなさまは「**オーバードーズ(OD)**」をご存じでしょうか。ODとは薬の過剰摂取のことで、若年層の間で市販薬のODが急増しておりSNSとの関係も深いものがあります。

子ども達を対象とした**ネットパトロール**でもODに関する投稿が見られることがあります。たいていの投稿は、自分自身が精神的に苦しいことを告白する内容です。



ODを行うと一時的につらい気持ちが和らいだりするようですが、健康に悪影響があり**死亡例**も起きています。命に別状がなくても、**後遺症**が残る場合もあります。

また、SNSではODに関する情報がたくさん見られます。ODにオススメの薬や体験談、OD仲間を募る投稿等が溢れており、SNSに居場所を求めて深みにはまってしまう。



★SNSで知り合った人から「薬をあげるから家にこない?」★

ODに関心のある子ども達は精神的に不安定です。ODしたくても薬をたくさん買うお金がない...そういった精神的に弱った子どもを狙う大人がSNSでターゲットを探しています。

SNSでODに関する内容を書き込めば、それを見つけた大人が個別にメッセージ(DM)を送ってきます。ODがしたいという子どもの気持ちを逆手に取り、**薬を対価にわいせつ行為を要求**するケースも出てきています。

また、SNSでODの情報を見かけて興味本位で始めてしまう人もいます。様々な情報が入手できる現在のSNS、**情報の遮断はもはや困難**であることを認識する必要があります。



現在のネット空間では、**あやしいサイト**ではなく**普通のSNS**にOD等に関する情報が溢れています。「どんな情報」でも得られる空間だからこそ、社会の暗い部分への耐性が無い子どもが惑わされないよう、現実世界で大人が子どもの話を聞くことが重要です。